



4月から6月

町議会では こんな活動をしました



議会ICTプロジェクト チームの活動

「議会機能の強化」を推進するため、タブレット端末の早期導入を目指し、調査・研究に取り組んでいる。

【活動報告（全議員参加）】

①4月17日 タブレットの使用
方法デモ実施

タブレットを手にして、実際に使う場面を想定し、操作性を体験した。個々の習熟度に差があり、今後も継続して学習が必要と感じた。

②4月26日 半田市議会視察
最初にタブレットを使用されている議員から概要説明を受けた。

操作性のみならず、使用上のルールやランニングコスト等、今後の課題についても具体的に聞くことができ有意義であった。

【タブレット端末導入で 期待される効果】

①議会の活性化・議員の資質
向上

- ・調査研究資料の充実
- ・議案審議、委員会活動での活用
- ・町民への迅速・的確な情報提供



半田市議会視察



タブレットデモ

②危機管理体制の強化

- ・安否確認

- ・災害情報の共有

③議会運営の効率化

- ・議会スケジュール等の情報を正確、迅速に共有

- ・膨大な紙資料の削減

- ・資料準備のための事務作業の軽減

- ・複数資料の持ち運びが不要

【主な課題】

①インターネットへの接続環境等

②導入費用・運用経費

③セキュリティ対策・私利利用禁止等の管理体制

（竹内啓規）

ほくぶ幼稚園訪問

文教厚生委員会の学校訪問の一環として、5月31日にほくぶ幼稚園を訪問した。

玄関で登園してくる子どもたちを見てみると、突然こちらがびっくりする程の大きな声で「おはようございます」のあいさつと共に元気いっぱいの子どもが入ってきた。

当日はあいにくの雨で、外遊びが出来なかったが、部屋の中で手作りの回転すし屋さんごっこや、手作りの舞台衣装を身に付けてステージごっこで元気に遊んでいた。

「てくてく」にいた子どもが友達と一緒に仲良く遊んでいるのを見て、つい目頭が熱くなった。



どっちのチームもがんばれ



ごろごろ楽しそう

ほくぶ幼稚園は、愛知県で唯一の町立幼稚園だが、保育園ニーズの高まりで近年入園希望者が減少し、定員164人に対し、現在の園児数は98人まで減り、令和10年3月が最後の卒園式になる。50年間の幕を閉じようとしている幼稚園に「長い間ありがとう お疲れさまでした」と伝えたいと思う。

（文教厚生委員会副委員長 廣瀬 実）

5/31